



がん県民公開セミナー

新時代・肝胆膵がんへの挑戦

講演集

茨城県がん診療連携協議会
茨城県立中央病院
2019年

令和元年度 がん県民公開セミナー 講演集発行にあたって

茨城県では、茨城県がん診療連携協議会（都道府県がん診療連携拠点病院：茨城県立中央病院、地域がん診療連携拠点病院：水戸医療センター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、友愛記念病院、地域がん診療病院：小山記念病院、茨城県がん診療指定病院：茨城西南医療センター病院、水戸赤十字病院、茨城東病院、霞ヶ浦医療センター、JAとりで総合医療センター、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、小児がん拠点病院（県指定）：茨城県立こども病院の18病院）が主催して「がん県民公開セミナー」を水戸会場とつくば会場で毎年開催しております。



第12回となった今回は、「肝胆膵のがん」をテーマに予防・診断・治療について、茨城県立中央病院の吉見富洋がんセンター長、荒木眞裕消化器内科部長の企画で、消化器内科医、消化器外科医計6名が解説する講演会とさせていただきました。

肝胆膵のがんとは、肝臓がん（肝細胞がん、胆管細胞がん）、胆道がん（胆嚢がん、胆管がん）、膵臓がんなどを指しており、膵臓がんをはじめとしていずれも生存率が低いがんとされています。消化器官の外側に位置する肝臓、胆のう、胆管、すい臓は、消化機能に関与する臓器です。肝臓の解毒作用や、すい臓の内分泌機能（ホルモンを産生し血糖値を調整する）などは、私たちが生きていくために重要なはたらきをしています。肝細胞がんの多くはB型肝炎やC型肝炎のウイルス感染と関連したがんですが、ワクチンや治療薬の進歩によって、これらに由来する肝細胞がんは減少傾向にあります。

2つの会場とも当日、多くの方にお越しいただくことができ、主催者として嬉しいかぎりです。しかし、当日お出でいただくことができなかった方も多くいらしたと思います。そのような皆さまのために、また、広く県民のために、両会場での講演内容を1冊の本にまとめることにいたしました。第1回から第11回のセミナーも同様に刊行して好評を博してまいりましたので、今回も必ずや皆さまのお役に立てると確信しております。

日本国民の2人に1人ががんになるという時代です。茨城県も同じ傾向にあります。茨城県民の皆さまにおかれましては、ぜひご一読いただき、ご自身のために、またご家族のために役立たせていただきたいと切にお願いいたします。

令和2年3月

茨城県がん診療連携協議会会長

茨城県立中央病院 病院長 吉川 裕之

目 次

【inつくば】

プログラム.....	1
講演1『肝臓がんの内科治療・外科治療』.....	2
講演2『胆道がんの内科治療・外科治療』.....	14
講演3『膵臓がんの内科治療・外科治療』.....	40
パネルディスカッション.....	52

【inみと】

プログラム.....	61
講演1『肝臓がんの内科治療・外科治療』.....	62
講演2『胆道がんの内科治療・外科治療』.....	76
講演3『膵臓がんの内科治療・外科治療』.....	98
パネルディスカッション.....	110

【参考資料】

inつくば アンケート結果.....	118
inみと アンケート結果.....	123
配布チラシ.....	128

※ 個人情報や著作権等の関係で、一部スライドや写真の掲載を省略させていただいております。